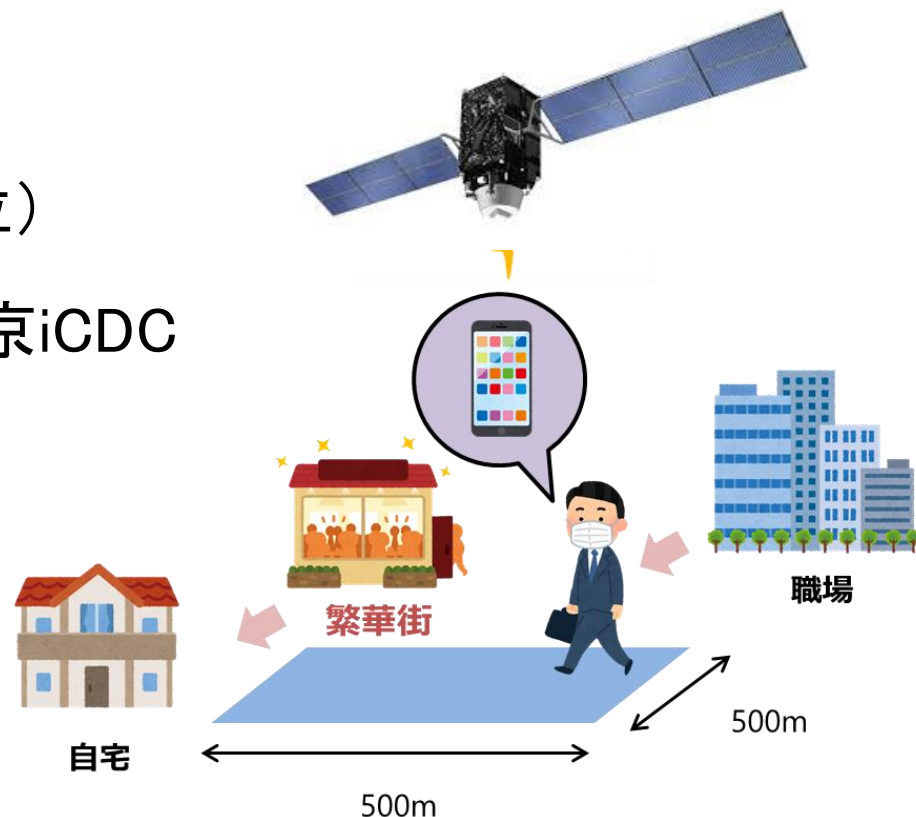
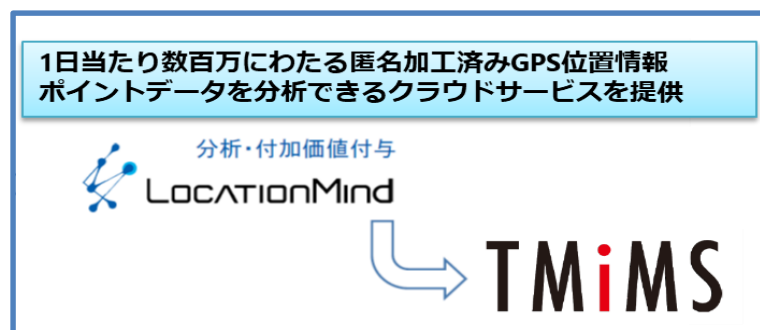


都内主要繁華街における 滞留人口モニタリング

東京都医学総合研究所
社会健康医学研究センター
西田 淳志

ハイリスクな人流・滞留を正確にとらえる

- GPSの移動パターンから**レジャー目的の人流・滞留を推定**※
- **主要繁華街**にレジャー目的で移動・滞留したデータを抽出
- ハイリスクな時間帯の人口滞留量を
1時間単位で推定(500mメッシュ単位)
- **LocationMind** ⇒ 都医学研 ⇒ 東京iCDC



※GPS移動パターンから職場と自宅の場所を推定した後、
職場・自宅以外の15分以上の滞留をレジャー目的としてカウント

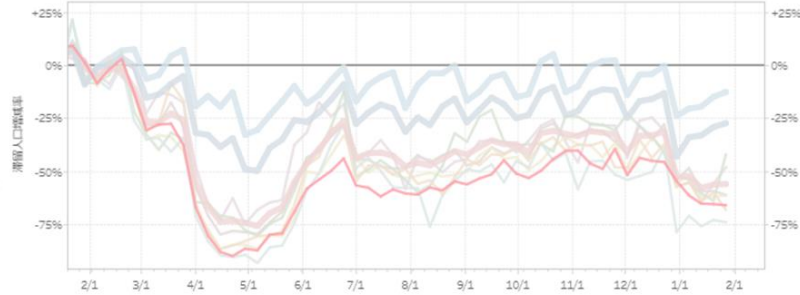
繁華街別 人口滞留ダッシュボード

歌舞伎町

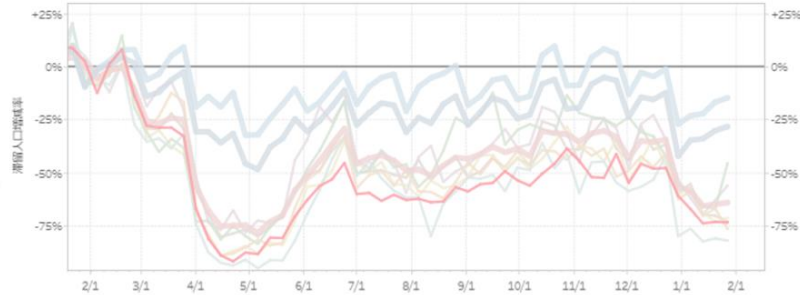
LOCATIONMind xPop

家庭・オフィス以外
滞留人口増減率
感染拡大以前比*

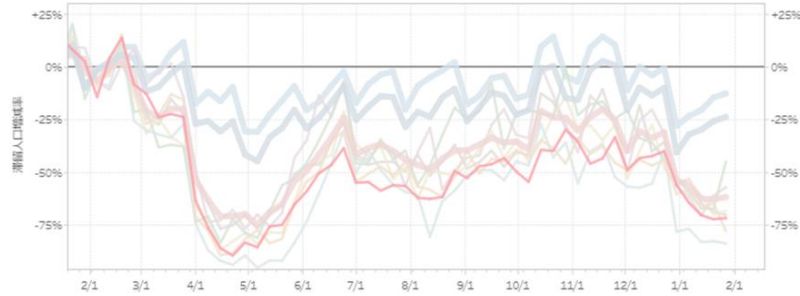
17:00~24:00



20:00~24:00



22:00~24:00

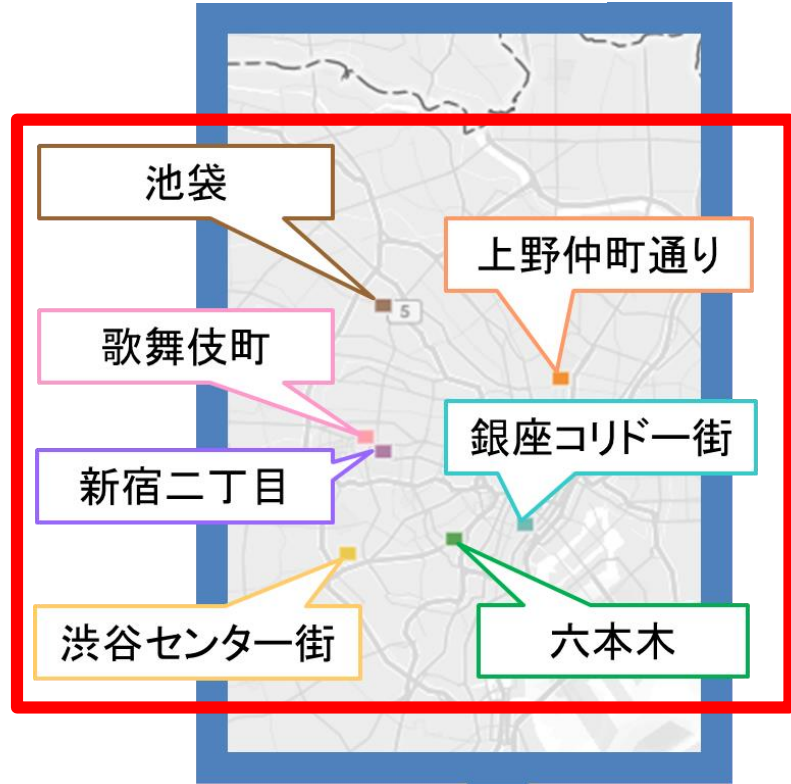


- 対象地域
- 区部
- 市部
- 全対象繁華街
- 上野仲町通り
- 銀座コリドー街
- 六本木
- 渋谷センター街
- 新宿二丁目
- 歌舞伎町
- 池袋



LocationMind xPop © LocationMind Inc.

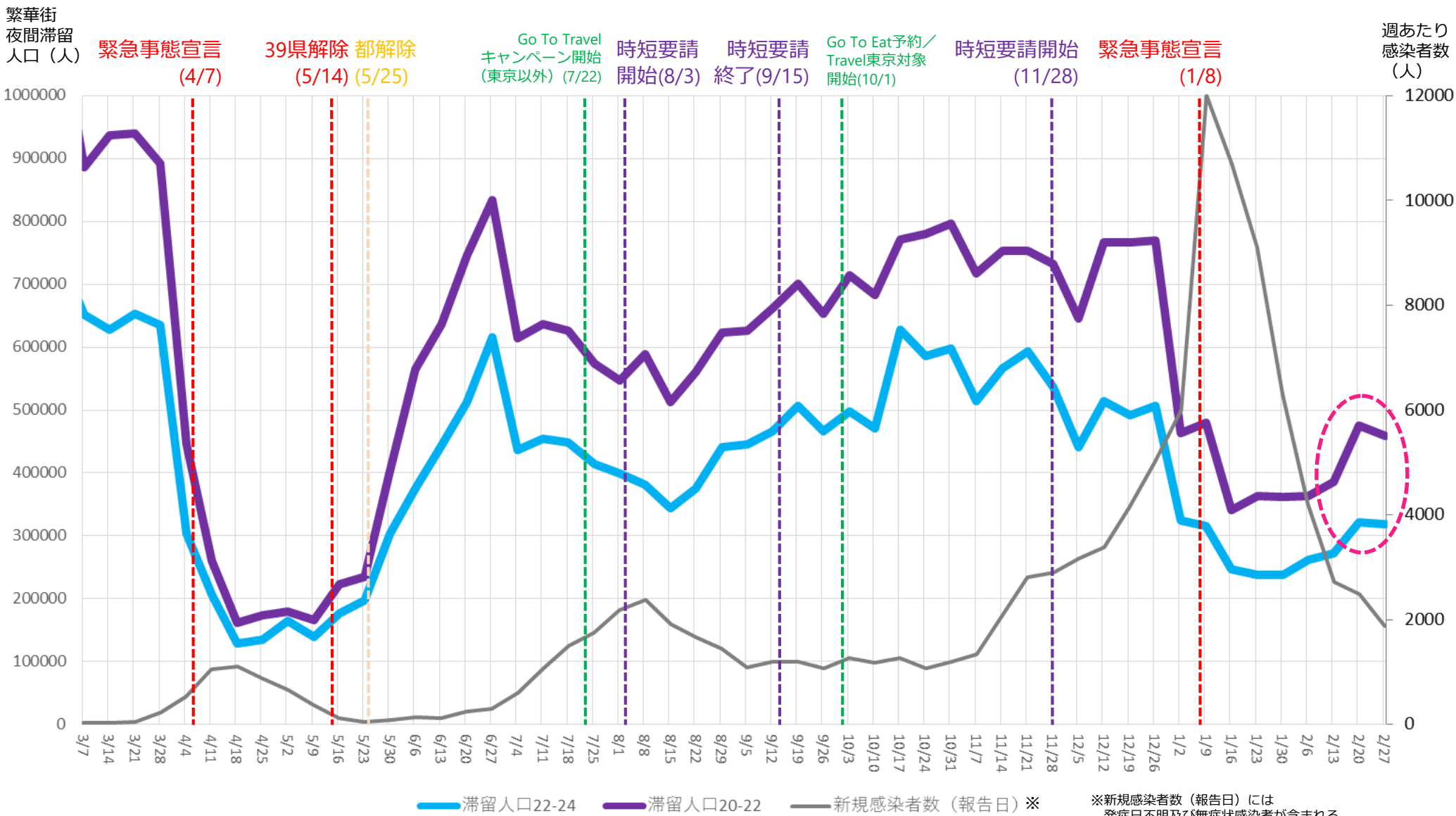
主要7繁華街合計値を算出



*感染拡大以前 (1/19~2/15) の平日日別平均を基準にした場合の減少率。

LocationMind xPop © LocationMind Inc.

主要繁華街夜間滞留人口の推移:東京 (2020年3月1日~2021年2月27日)



主要繁華街夜間滞留人口の推移と実効再生産数（2020年10月3日～2021年2月27日）

大阪府

札幌市

対象繁華街：キタ・ミナミ・京橋・新世界・天王寺・阿部野・十三

対象繁華街：札幌駅周辺・大通駅周辺・すすきの

※新規感染者数（報告日）には発症日不明及び無症状感染者が含まれる

— 夜間滞留人口（22-24時）
 — 20-22時滞留
 — 新規感染者数（報告日）※

— 夜間滞留人口（22-24時）
 — 20-22時滞留
 — 新規感染者数（報告日）※

左目盛り：繁華街夜間滞留人口（人） 右目盛り：週あたり感染者数（人）

左目盛り：繁華街夜間滞留人口（人） 右目盛り：週あたり感染者数（人）

繁華街
夜間滞留
人口（人）

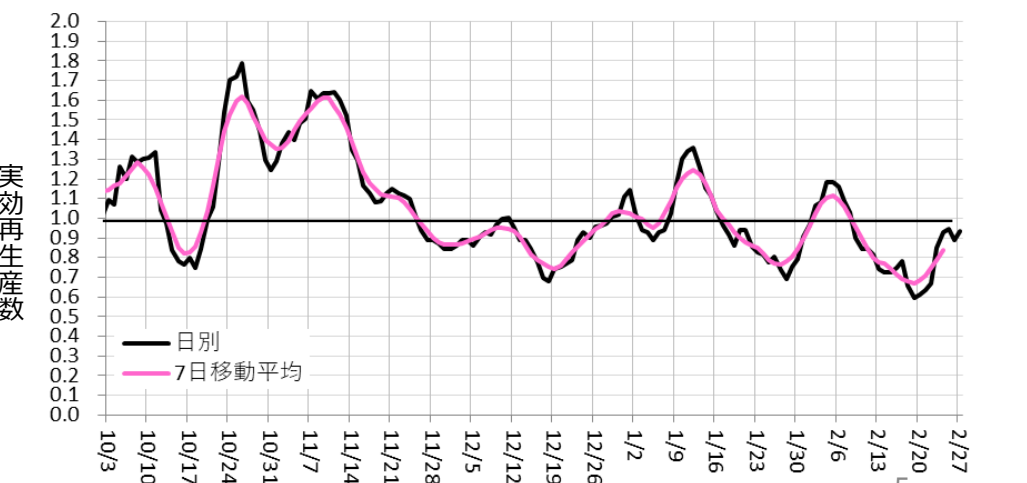
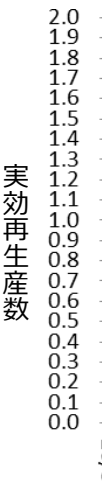
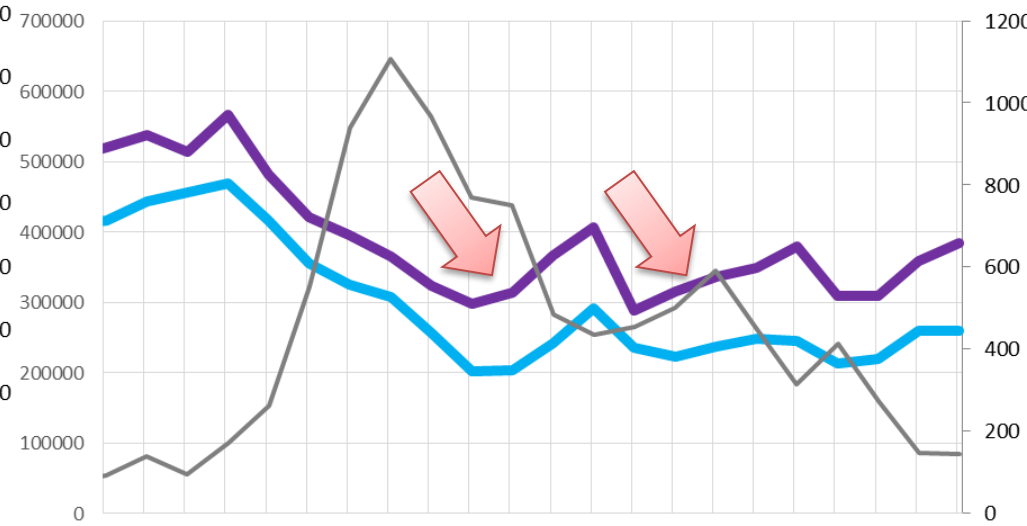
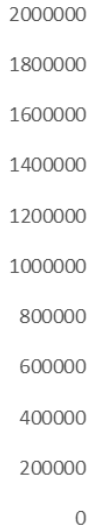
時短要請開始
(11/27)

緊急事態宣言
(1/14)

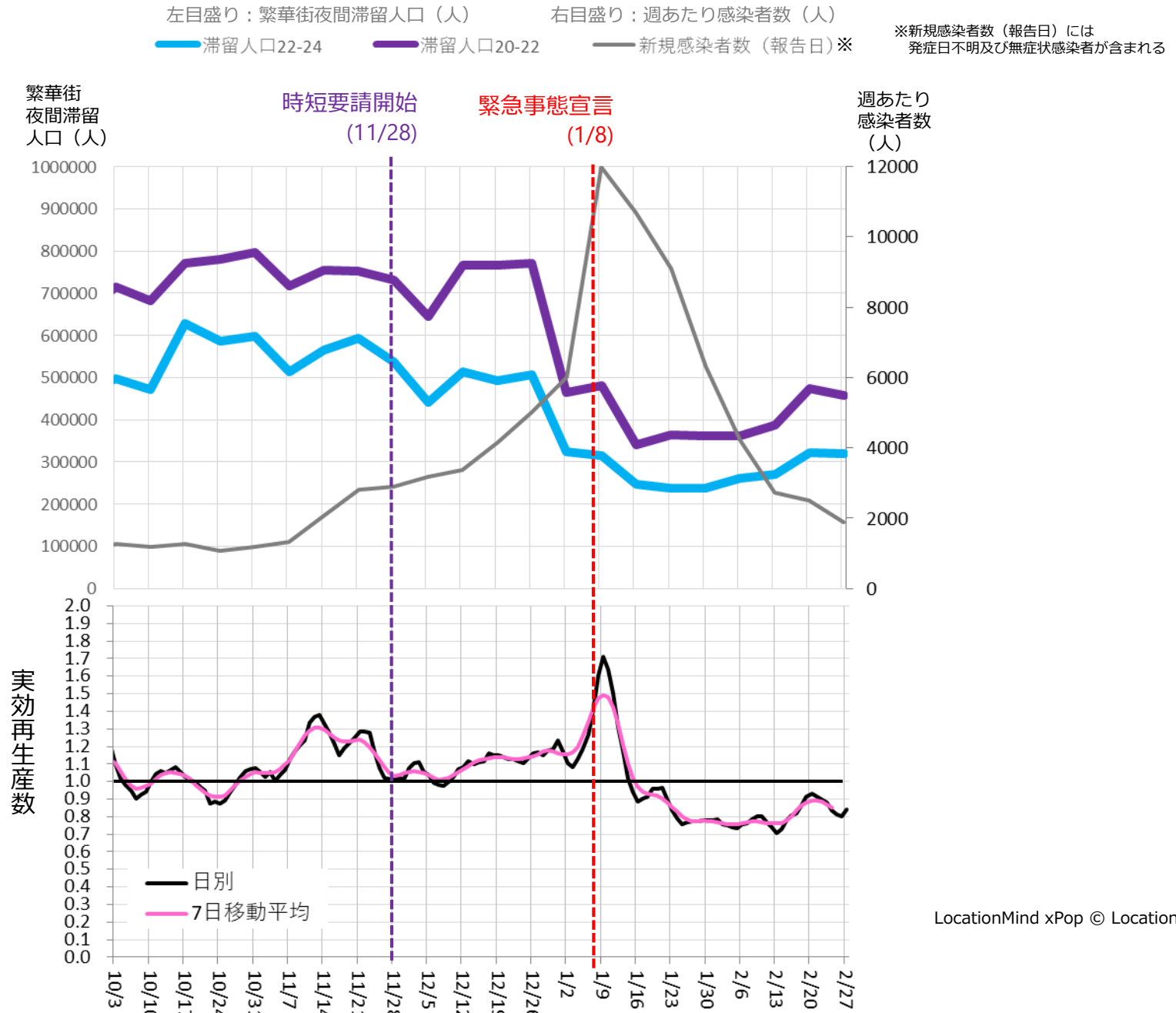
週あたり
感染者数
(人)

繁華街
夜間滞留
人口（人）

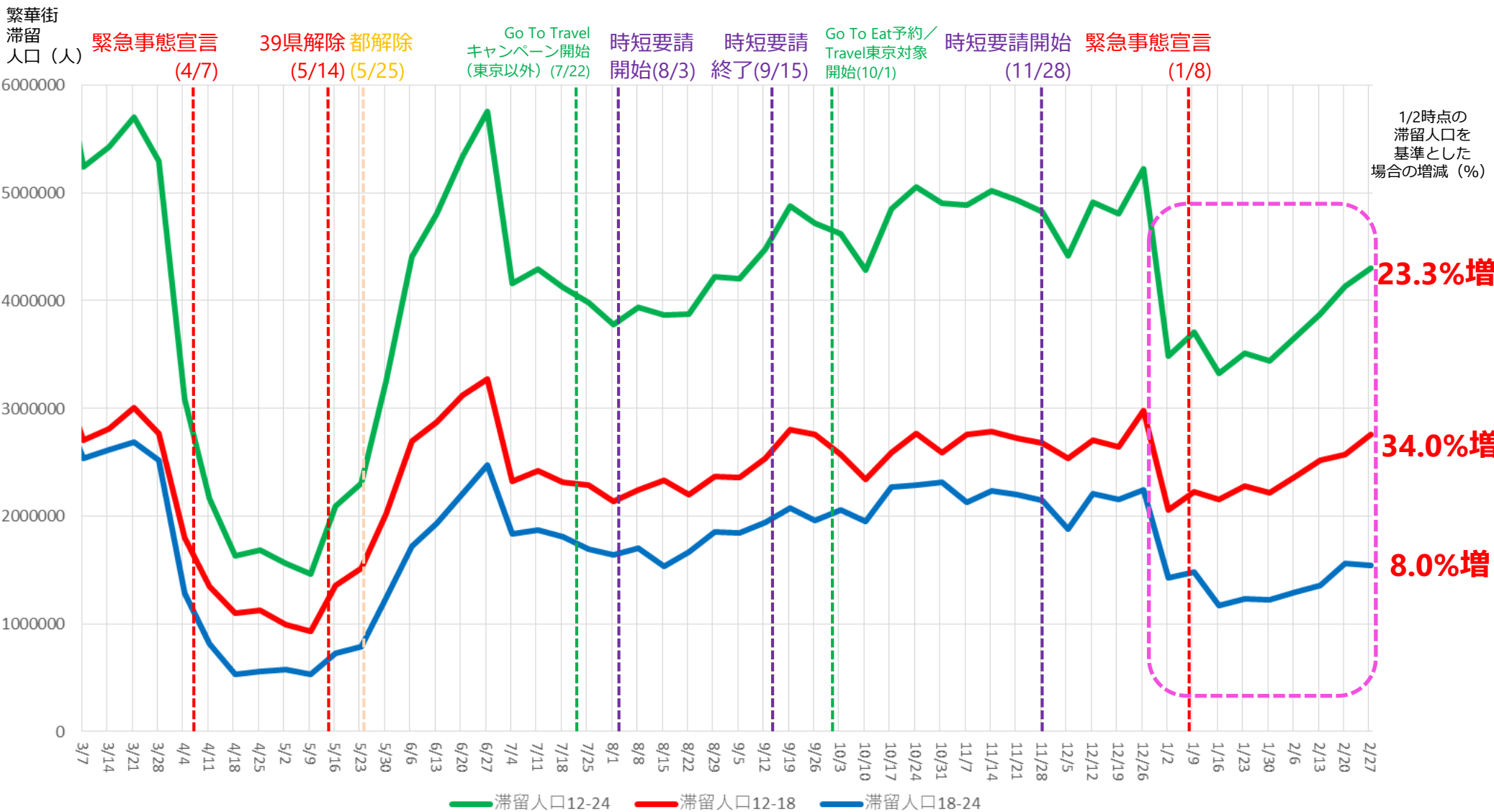
週あたり
感染者数
(人)



主要繁華街夜間滞留人口の推移と実効再生産数:東京 (2020年3月1日~2021年2月27日)



時間帯別主要繁華街滞留人口の推移（2020年3月1日～2021年2月27日）



LocationMind xPop © LocationMind Inc.

都内主要繁華街 滞留人口モニタリング (2月27日までのデータ分析の要点)

- 緊急事態宣言後、一定程度抑えられていた主要繁華街夜間滞留人口は、2月中旬（2月14～20日の週）に増加。その後、2月末にわずかに減少。感染者数減、解除報道増の中で踏み止まっているが予断をゆるさない状況が続いている。
- 他の自治体の例からも感染状況が十分に収束する前（実行再生産数が比較的高い時期）に繁華街夜間滞留人口が増加に転じると再び感染が急拡大する（リバウンド）恐れがある。
- 東京都も依然として厳しい感染状況が続いており、こうした状況で繁華街夜間滞留人口が増加し続けるとリバウンドにいたるリスクが十分にある。
- 主要繁華街における昼間滞留人口は緊急事態宣言後、増加が続いている。引き続き、昼夜問わず不要不急の外出自粛の呼びかけとランチ時間帯の感染予防策の徹底が必要。
- 感染状況を十分に収束させたとうえでの宣言解除を実現するためには、現状の人流抑制の水準にとどまらず、もう一段の対応が必要。